

公表

令和7年度 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後なかよしクラブ		公表日		令和 8年 2月 16日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・部屋数がある事でクールダウンにも使用できた。 ・身体を動かす、静かに過ごす空間が分けられている	空間は確保できているが、利用人数増加時の動線確保や安全面の再点検が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・基準以上の配置ができており、子どもの様子、状態に応じて個別の対応が可能	配置は適切だが、急な欠勤時のバックアップ体制を明確化する必要がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・スケジューリングで見通しがもてる様にしている。	視覚支援はあるが、特性別の視覚情報（感情カード・ルール提示など）をさらに充実させる必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・活動内容によってはホールを使用し環境を工夫している。	清潔保持はできているが、子どもの主体的な整理整頓の習慣づくりも課題。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・クールダウンできる場所も設けている。 ・テントなど使用して落ち着くスペースも確保している。	クールダウンスペースの活用基準を明確にし、職員間で統一する必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	・その日の内容確認・目的の振り返りを日々行うことができている。 ・互いの考えを出す事もできる場ではある。	PDCAへの参画にばらつきがあるため、全職員が主体的に関わる仕組みづくりが必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・公式HPに情報を挙げている。	保護者評価を分析し、具体的改善策を可視化する仕組みが必要。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	60%	40%	・毎日の終礼や日々の支援の中でお互いに伝え合うように意識しているが経験値で伝えられない場面もある。	・意見を伝える機会ではあるが、業務改善に繋がっているかは分からない。 ・職員意見が業務改善に反映されているか検証する体制が不十分。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	・視察や見学、研修、実習生、ボランティアの受け入れを行なっている。その際に感想などを書いていただいて職員全体にフィードバックしている。	第三者評価を定期的・体系的に実施する仕組みが必要。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・定期的に感染症、身体拘束、虐待防止、危機管理について事業所内研修を行っている。法人全体でキャリアパス研修を定期的に行っている。法人でそれぞれ事業所内研修を開催して、自由に参加できる。 ・放デイ向けの講義があり大変勉強になった。	研修受講後の実践への落とし込みと共有方法の強化が必要。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	80%	20%	・支援プログラムを軸にしながら子どもたちの育ちの姿を共有し、同じ方向性に向けて支援を行うことができている。	支援プログラムの公表内容をより具体化し、全職員が共通理解できる形に整理する必要がある。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・計画作成の際に現場職員に情報を聞いて計画作成を行っている。また担当者会議やモニタリング会議で保護者、相談支援専門員、関係機関の職員等と情報交換して支援について検討している。	アセスメントツールの統一や記録様式の標準化が課題。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	20%	・定期的に担当職員などにモニタリングし、児童にとっての育ちに寄り添う関わりを大切に、終礼の話し合いや事例検討をしながら作成している。	計画作成時の共通理解の深まりを確認する仕組みが必要。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	・個別支援計画作成のための会議を行い、職員で検討し意見交換を行っている。作成できた計画書は全体周知を行い計画に沿った支援を行っている。	計画に沿った支援実施の検証方法を明確にする必要がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・検査結果等のフォーマルな情報に加え、普段の様子等のインフォーマルな情報も共有している	標準化されたフォーマルアセスメントの導入検討が必要。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・個別に配慮された具体的な支援について記載し保護者にも理解できる言葉で表している。目標設定を明確にし日頃の話し合いの中で検討し振り返りながら支援計画も更新できるように関わっている。	「本人支援・家族支援・移行支援・地域支援」の評価視点を定期的に振り返る仕組みが必要。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・朝のミーティング時に共有している。 ・その日のディレクターが提示して、他の職員で意見交換もしている。	活動立案の意図やねらいを記録として明確化する必要がある。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・毎日、活動決めを行っている。 ・季節に合わせた活動・行事を活動として取り入れている。	活動の固定化防止のため、年間計画との整合性をさらに強化する必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・家での様子、学校での様子を踏まえ必要な支援を検討し計画作成、支援を行なっている。	個別活動と集団活動の目的整理をより明確にする必要がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	・その日の打ち合わせ細かい所は全体で振り返り周知・共有できている。	支援開始前の打ち合わせ参加率向上と記録の統一が課題。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・毎日、終礼時に全体の振り返りを行い、職員全体で情報共有を行い統一した関わりを周知している。 ・記録を残し、誰でも確認してもらうようにしている。 ・児童の成長した姿を職員で共有したり、問題行動については次回どのように関わっていくのか意見交換し方向性を決めている。	振り返り内容を次回支援にどう活かしたかの検証が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・毎日コドモンにて個別の記録、終礼での話し合った記録をしている。課題にあがった内容は振り返りや検討を行っている。	記録の質（客観性・具体性）向上が課題。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・6ヶ月毎に保護者、相談専門員、担当職員、児童発達支援管理責任者と定期的に行っている。前回の計画の内容を振り返り、スモールステップしながら見直しを行っている。また、必要に応じ保護者に確認し、通学する学校も一緒に参加してもらい今後についての方向性も検討し共通理解をしている。	モニタリング結果を日常支援へ確実に反映する仕組み強化が必要。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	学校と連携を図りながら成功体験を積んだり自己肯定感を育てるような場面を想定して多様な遊びや体験活動を取り入れている。また子ども主体を尊重しクッキングや買い物学習は子ども同士で考えて活動計画書を立てている。	4つの基本活動の実施状況を定期的に点検する必要がある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	何かを決める時に理解できるように視覚化したり一言、言葉を添えたりヒントを出したり自分で決めた経験の場を大切にしている。	自己決定支援の成功事例を共有・蓄積する仕組みが必要。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	現場職員が参加出来る際は参加している。環境的に難しい場合は事前によく理解している職員に聴き取りしたり全体の会議の場で共通理解している。	会議参加者の固定化を防ぎ、現場職員の参加機会を増やす必要がある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	地域の保健師や、行政、保育園等、顔の見える関係作りを意識して地域交流をしている。また当事業所を中心に豊肥地域連携連絡会を開き、今年度は支援コーディネーターを招いて研修を行なった。	医療機関との具体的連携事例の蓄積が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	送迎の際に様子の確認や、会議などで情報共有を行っている。	学校との定期的なケース会議の設定が課題。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	同施設内にあるので、職員から引継ぎを行い、情報共有を行っている。	就学前機関との引き継ぎ内容の記録化が必要。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	他事業所と併用して利用するケースに関しては事前に情報共有をしたり今までの取組の内容を伝える場を設けている。	卒業後の移行支援のフォロー体制強化が必要。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	設けている。	児童発達支援センターからのスーパーバイズを定期化する必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	40%	60%	公園や園外に出た際に少しある程度。交流は無いが、児童クラブの職員と情報を共有する事はある。	地域児童との交流機会を計画的に設定する必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	60%	40%	管理者が毎回参加している。現場職員は参加したことはない。	協議会への現場職員参加を促進する仕組みが必要。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時に保護者に会うのでその時に様子を伝えることができています。	発達状況の伝え方をより専門的視点を交えて説明できる体制づくりが必要。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	親グループでの交流ができる場を提供している。保護者向けの勉強会は情報提供を行っている。	ペアレントトレーニングを体系化し継続の実施を検討する必要がある。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	管理者や児童発達支援管理責任者が契約の際に説明している。	契約時説明内容の理解度確認の仕組みが必要。	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	新規の契約時やモニタリング等でアセスメントを丁寧に行い児童、家庭の意向を確認し計画作成に取り組んでいる。	児童本人の意思確認方法をより明確にする必要がある。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援内容を丁寧に説明し、同意を頂いている。	計画説明時のフィードバック記録の充実が必要。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	職員が対応しているが必要な場合は管理者へ報告し対応している。	相談対応記録の体系化が必要。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	年に1回、家族で参加できる行事を企画している。その際に保護者会（現在の行政の話や最近の子どもたちの様子などを話す会）も開催している。兄弟児も一緒に参加して当事業所で過ごす場を設けている。	保護者会の実施回数や内容の充実が課題。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情処理のマニュアルに沿って迅速に対応している。報連相を大切にしながら体制も整えている。	苦情対応後の再発防止策の検証体制強化が必要。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	季節ごとにお便りの発行・配布を行っている。	SNSやHP更新頻度の向上が課題。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	施錠ができる棚に書類を保管している。またUSBメモリの使用は一切禁止している。	情報管理研修の定期実施が必要。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	視覚化したり、難しい言葉は使用せず、わかりやすい表現の仕方でも説明している。	特種別コミュニケーション支援ツールの拡充が必要。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	以前はあったが、現在は無い。	地域住民参加型行事の再開検討が課題。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	まだ十分ではないが、訓練に関しては年間計画を作成し1ヶ月に1度、様々な発生を想定した訓練を実施している。コードモンにて連絡している。マニュアルを作成し、職員に配布している。	マニュアル理解度の確認テスト等の導入が必要。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・災害備蓄品を準備している。 ・研修、訓練を行っている。	BCPの実践訓練のシミュレーション精度向上が課題。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	服薬等の状況について、面談等で確認を行っている。また、年度ごとに調査票を配布し状況確認を行っている。	医療情報の更新確認をより定期化する必要がある。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	おやつ、調理活動前には事前に材料の確認を二重チェックで行っている。	アレルギー対応マニュアルの再確認と職員周知強化が必要。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成している。計画に基づく訓練を定期的に実施している。	安全計画の評価・見直し時期の明確化が必要。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	安全計画に基づく訓練等を実施した際には保護者に報告を行っている。安全計画は掲示し保護者が見られるようにしている。	安全計画内容の保護者理解度の確認が課題。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	報告書を作成し、全体周知を行っている。危険な場面があった時には必要に応じて会議を行ったり、場面を再現し共通理解を計りながら再発防止を検討している。	ヒヤリハットの傾向分析とデータ化が必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年間計画を作成し、定期的に研修を行っている。振り返り際には支援者側の落ち度はなかったかという視点を持って話し合いを行い、反省点を踏まえ支援を行っている。倫理綱領を唱和している。	虐待防止研修後の実践チェック体制強化が必要。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	80%	20%	身体拘束は原則行わないことを徹底して支援を行っている。身体拘束が必要な状況は発生しておらず、また必要な状況が起きないように職員間で意思疎通を図りながら支援を行っている。	身体拘束に関する組織的な判断基準の明文化が必要。	